



2021年2月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J M C  
代 表 者 名 代表取締役社長 渡 邊 大 知  
兼 C E O  
(コード番号：5704 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 経営企画室室長 倉 嶋 崇 博  
(TEL. 045-477-5751)

### 〈マザーズ〉投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### ○開催状況

開催日時 2021年2月25日(木) 10:30～11:30

開催方法 インターネットライブ中継及びオンデマンド配信による開催  
ライブ視聴者から文字による質問を受け付け、説明会内で回答を実施

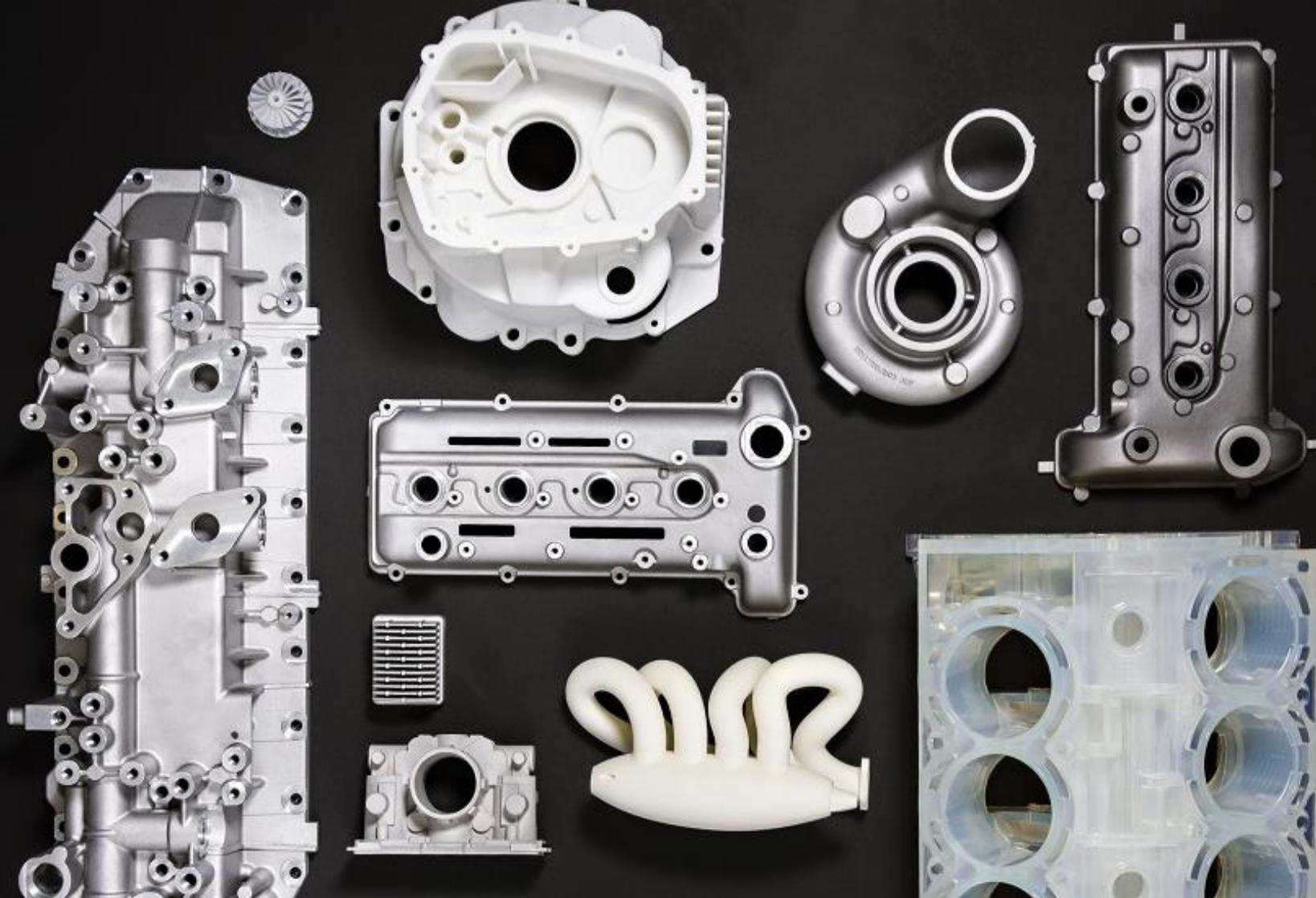
開催場所 ライブ及びオンデマンド配信ページ  
<https://vspm.irstreet.com/browse/index.php?code=caAGSW/yJ.9FY&pr=youtube>

説明会資料名 2020年12月期 決算説明資料

#### 【添付資料】

2020年12月期 決算説明資料

以上



# 2020年12月期 決算説明会

株式会社 J M C

証券コード：5704

2021.2.25

# 1. 2020年12月期 全社業績概要

## 2. 2020年12月期 事業別業績概要

## 3. 2021年12月期の取り組み

# 変化に対応し、新たな強みをつくる

**内製化の促進**

**教育・人材への投資**

**新サービス・製品の開発着手**

## 内製化の促進

### 実現したこと

- ミーリングセンター（静岡県浜松市）  
2020年2月より稼働
- 人員、設備の拡充を段階的に実施し稼働率ほぼ100%を達成
- 加工工程の内製化促進と外注加工費用の抑制に寄与

### 課題

- 人員拡充に時間を要し、当初の想定より緩やかな立上げ

厳しい受注環境の中、ミーリングセンターの稼働により  
鑄造事業の高付加価値は新たな領域へ

## 教育・人材への投資

### 実現したこと

- 高スキル人材の積極的採用・登用  
で業務スキルのボトムアップを  
実施
- 各教育機関との共同研究により、  
製造知識レベル向上を促進

### 課題

- 新たな分野へ参入のため、  
より高度な冶金学の習得
- ものづくりとIT知識を  
兼ね備えた人材の拡充

高い付加価値を世の中に提供し続けるため  
Q（品質）・C（コスト）・D（納期）をブラッシュアップ

## 新サービス・製品の開発着手

### 実現したこと

#### ➤ WEBを活用したセミナーの主催、頻度加速

開催回数：10回

登録者数：のべ 600名以上



#### ➤ YouTube『JMC BASE』からレストア\*分野へ進出

専用サイトを開設し、様々なレストアニーズに部品供給の提案開始

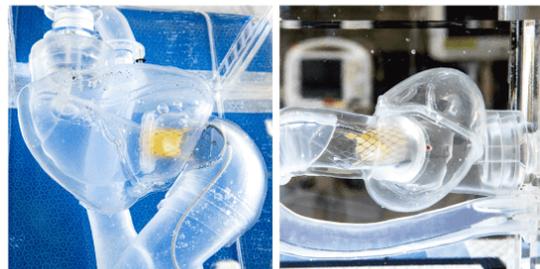
\*) 主に旧型車両などで劣化・故障した部位を修理すること



#### ➤ 心臓カテーテルシミュレーター『HEARTROID』

新製品、バージョンアップ品を相次いで投入

いち早くトレンドを掴むことで利用価値の高い商品に成長



## マイナス要素

- 1 予定プロジェクトの延期・縮小・凍結
- 2 市場の案件減少による価格競争激化
- 3 購買決定要因である「スピード対応」の価値が低下し、JMCの強みの1つが活かせず
- 4 顧客との対面機会減少

## プラス要素

- 1 生産工場ライン無人化、省人化目的の新たなニーズ発生
- 2 大量生産から少量多品種への流れ加速
- 3 サプライチェーン分断による日本回帰
- 4 コスト抑制

**業績面のマイナス要素が依然大きい  
成長の契機となるプラス側面も徐々に顕在化**

### 【当社方針・状況は継続中】

- ・現在まで当社従業員の新型コロナウイルス感染報告なし
- ・全拠点で感染対策を徹底したうえで、原則通常稼働を継続
- ・財務基盤安定化のためシンジケート方式によるコミットメントライン契約締結

| 単位：百万円 | 2020年12月期<br>修正見通し | 2020年12月期 | 増減額 | 増減率   |
|--------|--------------------|-----------|-----|-------|
| 売上高    | 2,300              | 2,458     | 158 | 6.9%  |
| 営業損失   | △ 300              | △ 220     | 79  | 26.5% |
| 営業損失率  | △ 13.0%            | △ 9.0%    | -   | 4.0P  |
| 経常損失   | △ 290              | △ 206     | 83  | 28.7% |
| 経常損失率  | △ 12.6%            | △ 8.4%    | -   | 4.2P  |
| 当期純損失  | △ 230              | △ 173     | 56  | 24.7% |

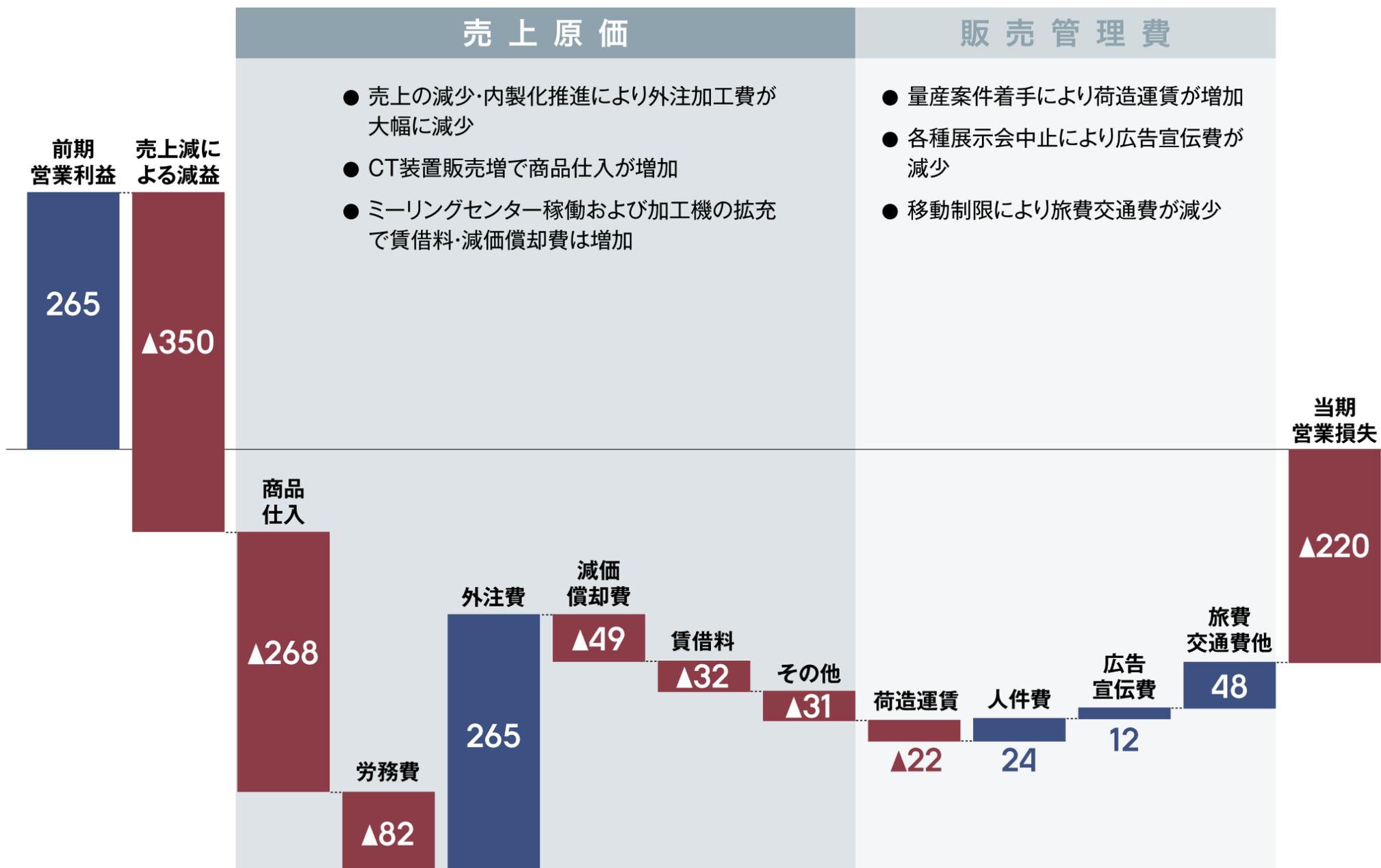
修正見通しに対しては上振れ

- 3Dプリンター出力事業** 期末にかけて短納期の試作需要がやや増加
- 鋳造事業** 量産案件の納品前倒し対応、自動車関係試作が想定より上振れ
- CT事業** 2021年1月想定 of CT装置売上を前倒し

## 2020年12月期 業績ハイライト 前年比

| 単位：百万円       | 2019年12月期 | 2020年12月期 | 増減額   | 増減率     |
|--------------|-----------|-----------|-------|---------|
| 売上高          | 2,809     | 2,458     | △ 350 | △ 12.5% |
| 売上総利益        | 1,116     | 568       | △ 547 | △ 49.0% |
| 売上総利益率       | 39.7%     | 23.1%     | -     | △ 16.6P |
| 販売費及び一般管理費   | 851       | 789       | △ 62  | △ 7.3%  |
| 営業利益又は営業損失   | 265       | △ 220     | △ 485 | -       |
| 営業利益又は営業損失率  | 9.4%      | △ 9.0%    | -     | △ 18.4P |
| 経常利益又は経常損失   | 264       | △ 206     | △ 470 | -       |
| 経常利益又は経常損失率  | 9.4%      | △ 8.4%    | -     | △ 17.8P |
| 当期純利益又は当期純損失 | 164       | △ 173     | △ 337 | -       |

停滞した市場環境の回復に時間を要し、前年比で大幅な売上減少



| 単位：百万円 | 2019年12月期 | 2020年12月期 | 増減額   | 増減率    |
|--------|-----------|-----------|-------|--------|
| 流動資産   | 1,009     | 1,121     | 111   | 11.1%  |
| 固定資産   | 2,672     | 2,662     | △ 9   | △ 0.4% |
| 資産合計   | 3,682     | 3,784     | 101   | 2.8%   |
| 流動負債   | 522       | 820       | 297   | 56.9%  |
| 固定負債   | 905       | 878       | △ 27  | △ 3.0% |
| 負債合計   | 1,427     | 1,698     | 270   | 18.9%  |
| 純資産合計  | 2,254     | 2,085     | △ 168 | △ 7.5% |
| 自己資本比率 | 61.2%     | 55.1%     |       |        |

【資産】 CT装置販売増加により売掛金が増加  
【純資産】 四半期損失の計上により減少

【負債】 運転資金調達により、短期借入金が増加  
【自己資本比率】 依然高水準を維持し、財務基盤は堅持

# キャッシュ・フロー計算書 サマリー

| 単位：百万円              | 2019年12月期 | 2020年12月期 | 増減額   | 前期比      |
|---------------------|-----------|-----------|-------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 301       | △ 28      | △ 330 | -        |
| 固定資産の取得による支出        | △ 1,397   | △ 251     | 1,146 | 82.0%    |
| その他                 | 79        | 2         | △ 76  | △ 97.0%  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △ 1,318   | △ 249     | 1,069 | 81.1%    |
| 短期借入金の純増減額（△は減少）    | △ 155     | 300       | 455   | -        |
| 長期借入れによる収入          | 500       | 64        | △ 436 | △ 87.2%  |
| 長期借入金の返済による支出       | △ 47      | △ 126     | △ 78  | △ 165.1% |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 85        | 88        | 2     | 2.6%     |
| リース債務の返済による支出       | △ 91      | △ 120     | △ 29  | △ 31.9%  |
| その他                 | 17        | △ 3       | △ 20  | -        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 308       | 201       | △ 106 | △ 34.6%  |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △ 708     | △ 76      | 632   | 89.2%    |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,007     | 298       | △ 708 | △ 70.4%  |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 298       | 222       | △ 76  | △ 25.6%  |

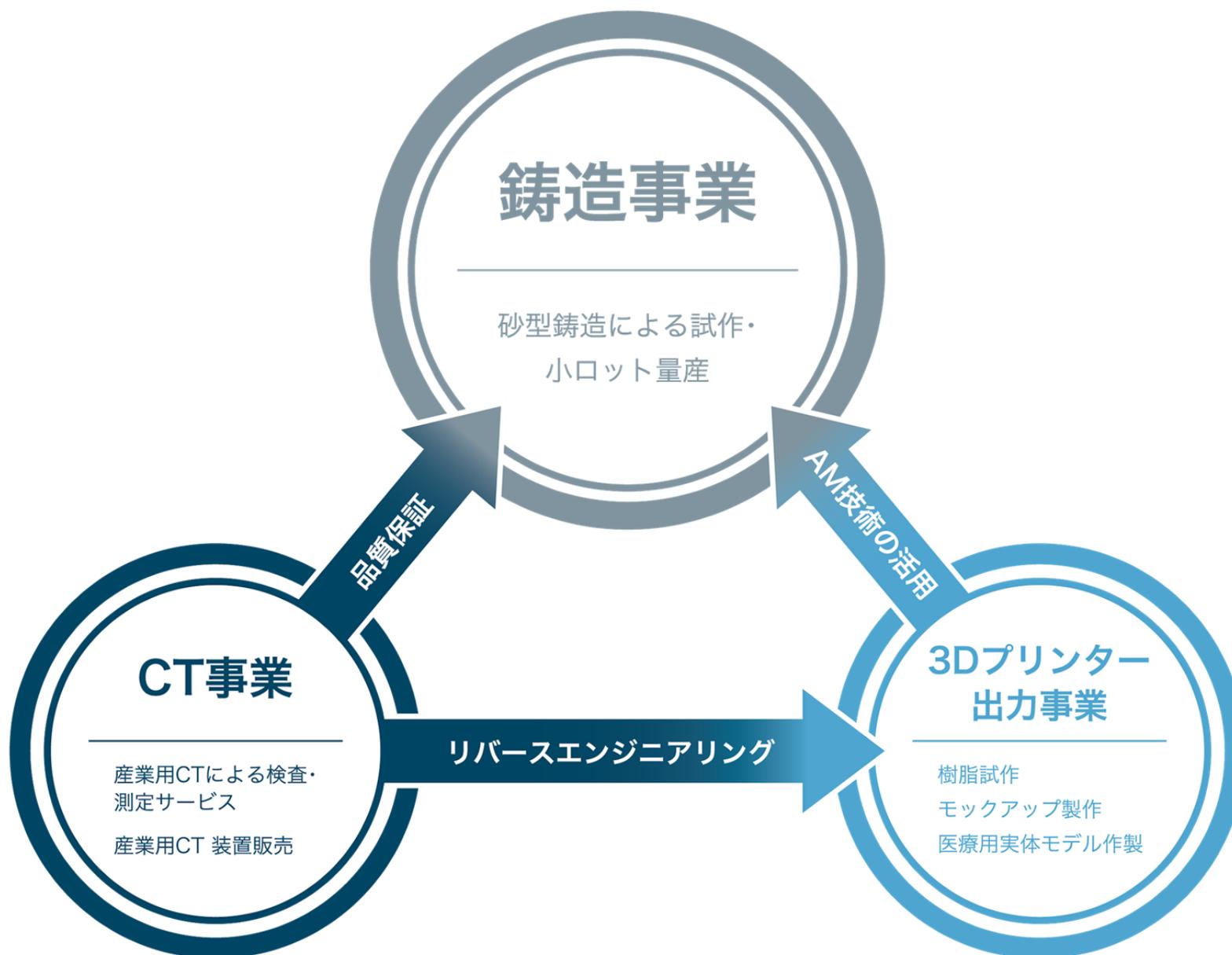
営業活動によるキャッシュ・フロー  
設備投資によるキャッシュ・フロー  
財務活動によるキャッシュ・フロー

営業損失計上のためマイナス  
ミーリングセンター稼働開始により支出はピークアウト  
コミットメントラインの柔軟な活用で安定した資金調達を実施

1. 2020年12月期 全社業績概要

**2. 2020年12月期 事業別業績概要**

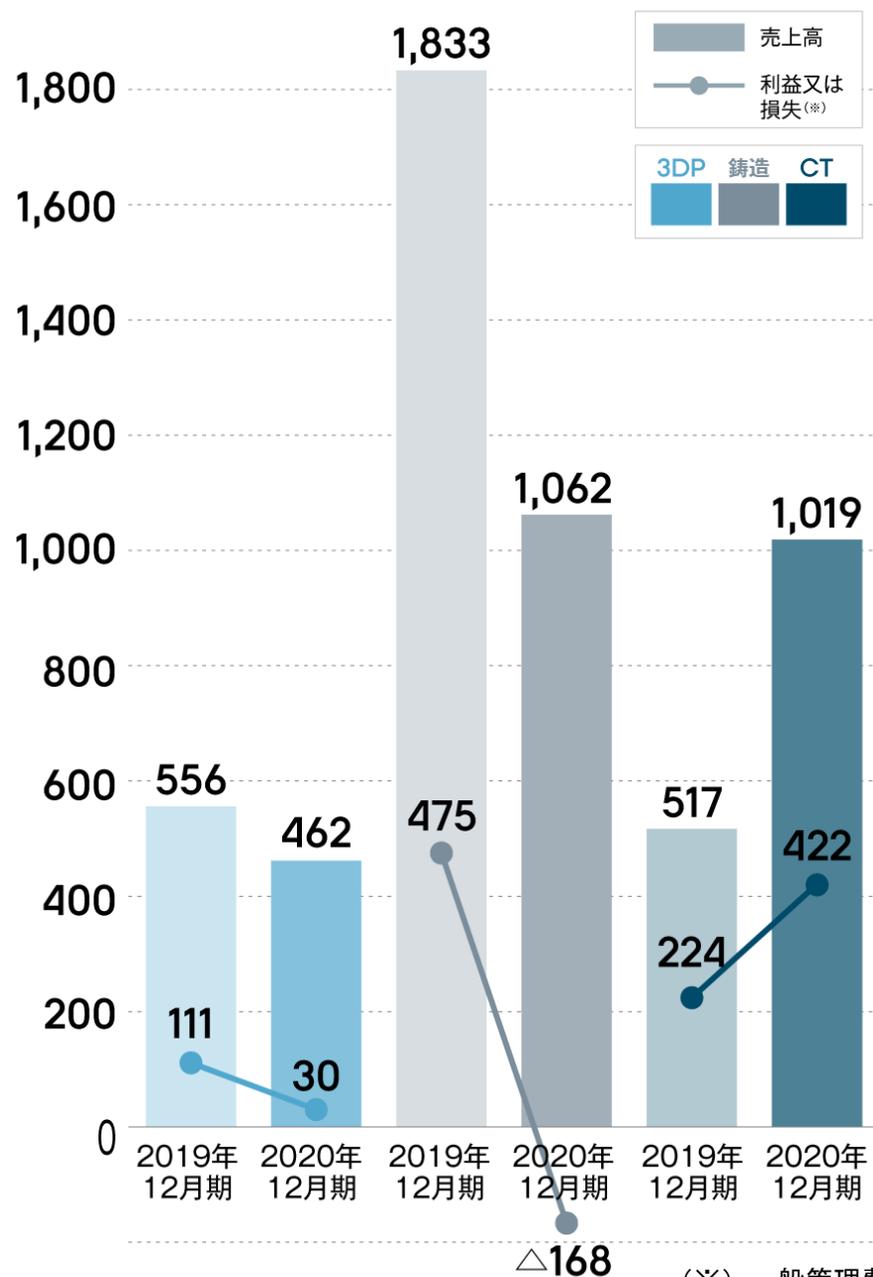
3. 2021年12月期の取り組み



# 2020年12月期 セグメント別情報

| 単位：百万円                | 売上高         |                |       |         | セグメント利益又は損失 |           |       |         |
|-----------------------|-------------|----------------|-------|---------|-------------|-----------|-------|---------|
|                       | 2019年12月期   | 2020年12月期      | 増減額   | 増減率     | 2019年12月期   | 2020年12月期 | 増減額   | 増減率     |
| 3D<br>プリンター<br>出力事業   | 556         | 462            | △ 93  | △ 16.9% | 111         | 30        | △ 81  | △ 73.0% |
| 鋳造事業                  | 1,833       | 1,062          | △ 770 | △ 42.1% | 475         | △ 168     | △ 644 | -       |
| CT事業<br>カッコ内は<br>装置販売 | 517<br>(93) | 1,019<br>(497) | 501   | 96.9%   | 224         | 422       | 198   | 88.4%   |
| その他                   | △ 98        | △ 85           | 12    | 13.1%   | △ 546       | △ 504     | 42    | 7.7%    |
| 四半期<br>損益計算書<br>計上額   | 2,809       | 2,458          | △ 350 | △ 12.5% | 265         | △ 220     | △ 485 | -       |

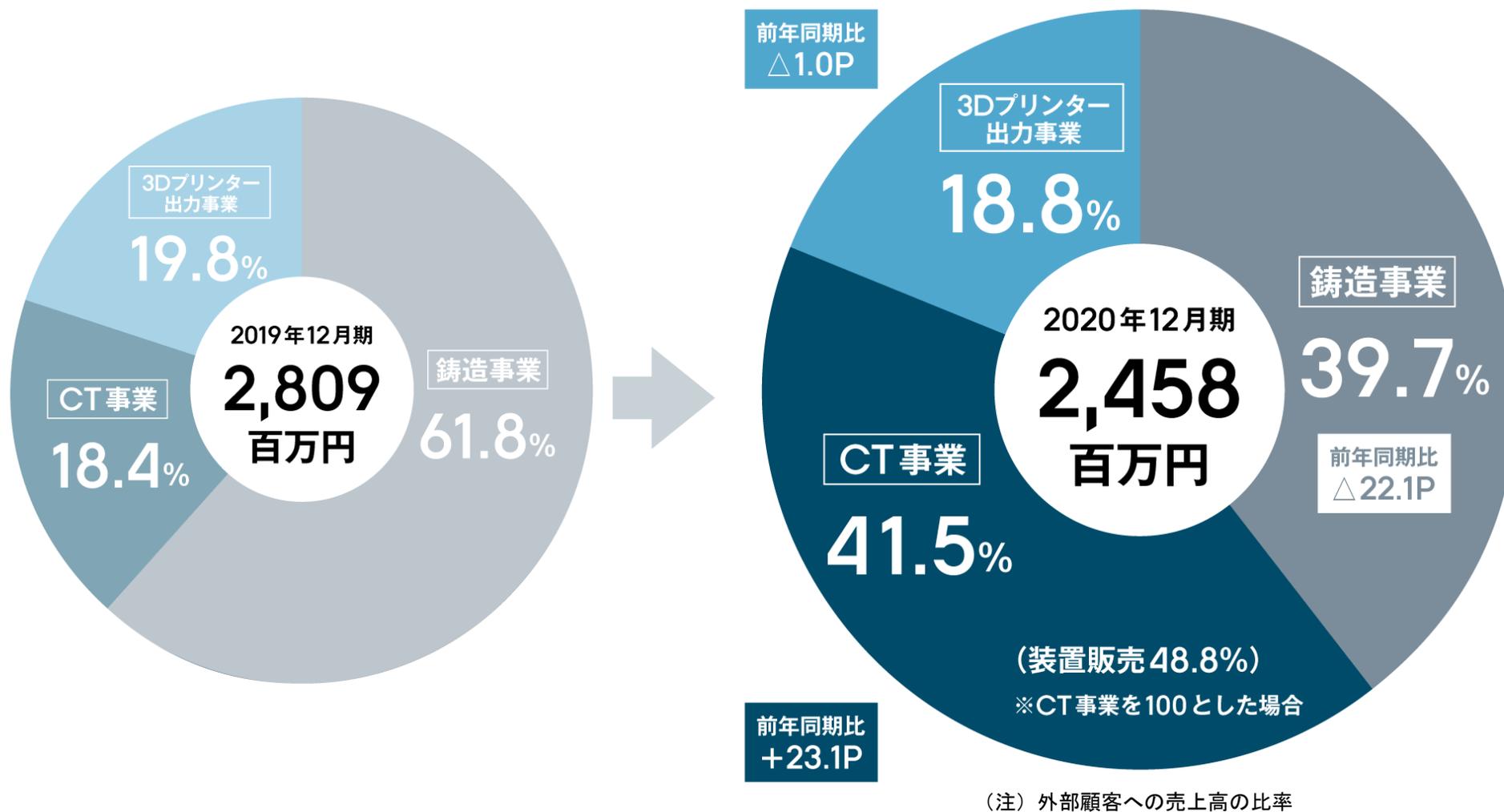
(単位：百万円)



(※) 一般管理費控除前のセグメント利益又は損失

## 外部環境・事業別概況

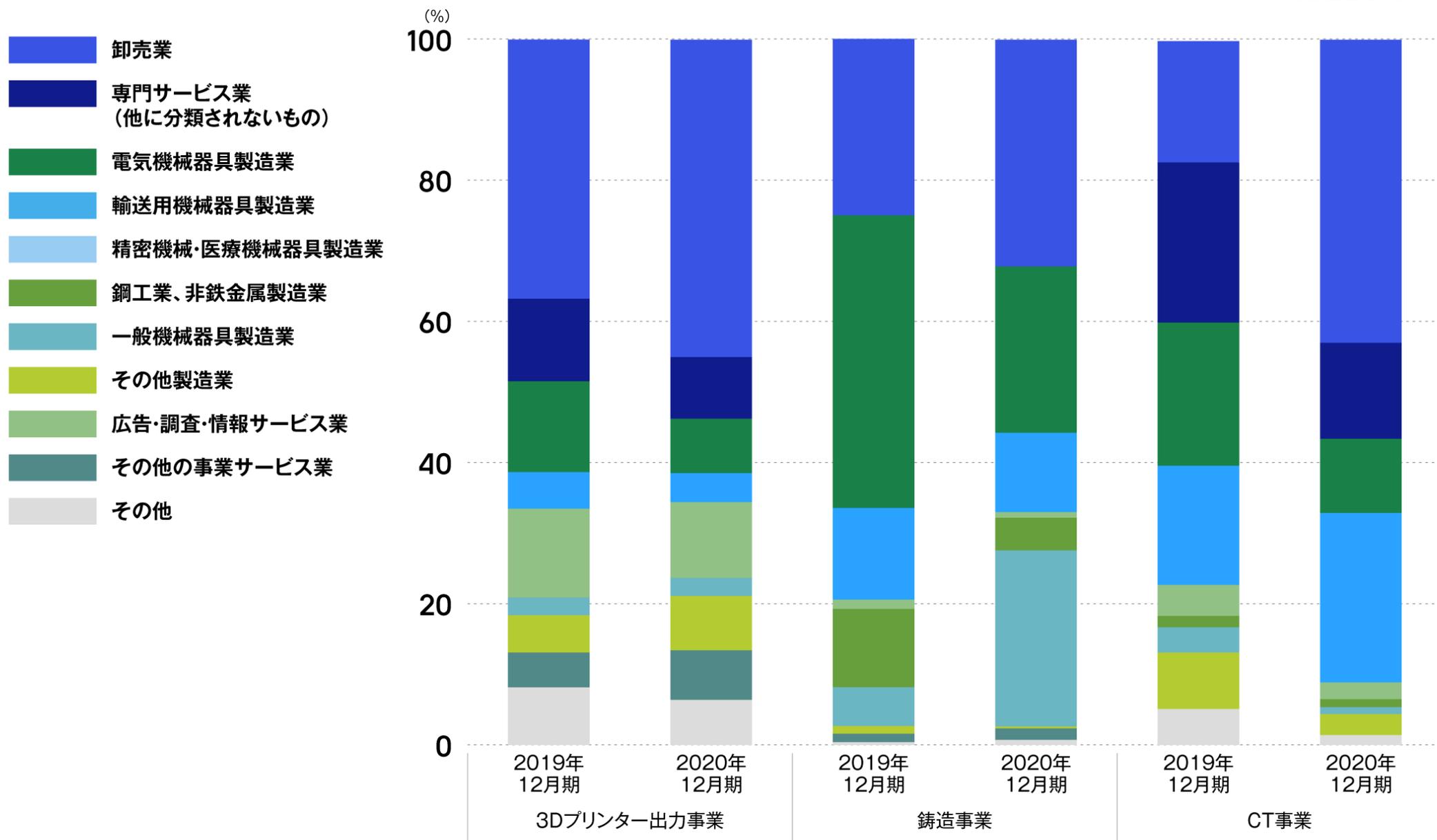
- 顧客の試作・開発の停滞や屋内外でのイベント中止による展示物製作ニーズの減少により、価格競争が通年で継続。HEARTROIDでは海外デバイスメーカーを中心に好調を維持
- 加工工程の内製化推進や、FA関係の新たな需要喚起も進んだが、輸送機器関連の顧客を中心に開発日程の延期などによる試作機会減少の影響を甘受
- デジタルコンテンツを駆使したCT撮像認知活動を強化し、多様な分野での撮像ニーズや品質保証需要を獲得。また装置販売も業績を牽引



2019年12月期

2020年12月期

# 産業別売上高比率



【鋳造事業】 電気機械器具製造業（主に自動車関連）比率が減少し、  
一般機械器具製造業の比率が増加（主にFA関連）

【CT事業】 不具合解析・安全検査等の品質保証撮像ニーズが増加

1. 2020年12月期 全社業績概要

2. 2020年12月期 事業別業績概要

**3. 2021年12月期の取り組み**

# Cross-functional & 提案力

**他社にできない事業シナジー**

**製造業にできないサービスレベル**

**ニッチトップを狙えるプロダクト創出**

| 単位：百万円       | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 増減額 | 増減率   |
|--------------|-----------|-----------|-----|-------|
| 売上高          | 2,458     | 2,584     | 125 | 4.8%  |
| 営業利益又は営業損失   | △ 220     | 26        | 246 | -     |
| 営業利益又は営業損失率  | △ 9.0%    | 1.0%      | -   | 10.0P |
| 経常利益又は経常損失   | △ 206     | 56        | 263 | -     |
| 経常利益又は経常損失率  | △ 8.4%    | 2.2%      | -   | 10.6P |
| 当期純利益又は当期純損失 | △ 173     | 37        | 210 | -     |

「ものづくり」にとどまらず事業の垣根を超えた連携強化  
「サービス業レベルのサービス体制」実現マインド醸成  
「小回り力・総合力」による競合他社との差別化推進

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては見通し変更も検討

※ 設備投資計画を含む中期目標値は、当期状況の見極めを優先し再検討を進める

| 単位：百万円              | 売上高       |           |       |         | セグメント利益又は損失 |           |       |         |
|---------------------|-----------|-----------|-------|---------|-------------|-----------|-------|---------|
|                     | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 増減額   | 増減率     | 2020年12月期   | 2021年12月期 | 増減額   | 増減率     |
| 3D<br>プリンター<br>出力事業 | 462       | 582       | 119   | 25.8%   | 30          | 77        | 47    | 156.4%  |
| 鑄造事業                | 1,062     | 1,395     | 332   | 31.3%   | △ 168       | 124       | 292   | -       |
| CT事業                | 1,019     | 691       | △ 328 | △ 32.2% | 422         | 284       | △ 137 | △ 32.5% |
| その他<br>(内部取引)       | △ 85      | △ 84      | 1     | -       | △ 504       | △ 460     | 44    | -       |

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては見通し変更も検討

## Additive Manufacturing プロダクト化を視野

NTTデータザムテクノロジーズ社を迎え、AMによる設計開発  
ノウハウの蓄積と量産を視野に入れた品質面の強化を実施

AM開発を志す顧客ニーズの早期具現化のため、技術情報共有と  
設備融通など、柔軟な協力体制とワンストップサービスを構築

顧客ニーズ創出まで踏み込めるプロダクト提案力の向上  
～環境負荷・事業継続などの側面からAMの優位性を訴求～

**JMC**  
MADE BY JMC



**NTT Data**  
株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ



**EOS**

3社協同のメリット最大化と  
プロダクト創出による市場の新たなニーズを喚起



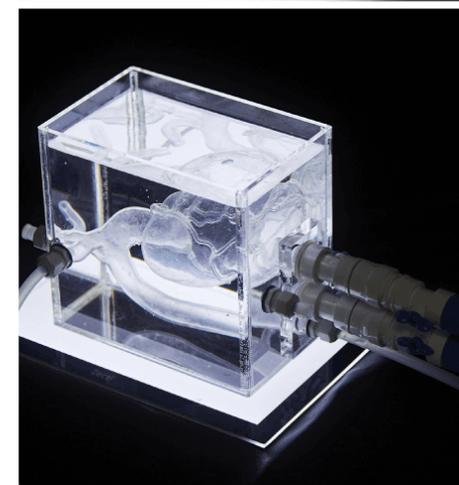
# HEARTROID PROJECT (ハートロイドプロジェクト) 世界の心臓病疾患の安全な治療に向けた活動を本格化

マサチューセッツ工科大学 TTDD (Therapeutic Technology\_Design&Development) Labと  
クリエイティブパートナーシップ開始

▶2020年12月よりTTDD Labで心血管デバイス開発に利用開始

欧州地域の販売拡大に不可欠な「CEマーク」の認証取得

米国で認知度が高い「The Good Design Award」に  
おいて、2020年度メディカル部門で日本から唯一の受賞



HEARTROID が全世界で活用されるための  
サービスインフラの構築を開始

## 内製化の強化と新市場・新分野で JMC を体現

高性能5軸加工機など10台の切削加工機を擁するミーリングセンター稼働により、「鋳造+機械加工」ニーズを強力に獲得

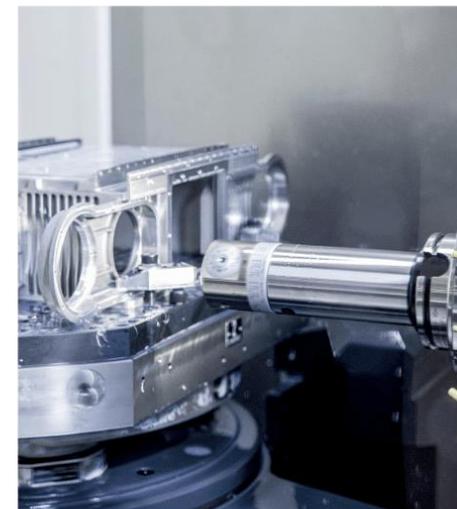
レストア分野での部品供給に進出  
JMCだから対応可能な品質・数量を  
様々なチャネルを通じて提案



**JMC**  
B△SE

航空・防衛分野では、初ロット品納入に向けた最終段階に到達

量産品や高付加価値品への対応力を更に強化  
新市場、新ニーズの発掘にも注力



## 世界のものづくり企業から必要不可欠な事業へ

学術研究分野、教育分野などの撮像ニーズにも応えるためのサービス力の強化

オンラインセミナーの継続やメールマガジンの発行、SNSに加え、データ頒布や初回撮像の無償対応など距離を感じさせないサービスメニューの充実化

月1回配信されるメールマガジンをスタート▶



CT撮像のフロンティア企業として、蓄積ノウハウの標準化・共有化を進め、DXを強く意識したビジネスモデルの構築に向けて始動

CT撮像の可能性にこだわり、  
既存市場の深耕と新市場への拡張を同時に進める



## デジタルコンテンツのさらなる拡充

### CTスキャン、AMに関する技術セミナーを定着化

- ▶ セミナー視聴者数の倍増と視聴者分野の拡張

### オンラインハンズオンを新たに開催

- ▶ 常設スタジオを備え、本格的なサービス提供を検討

### 事業サービスサイトリニューアル、コンテンツの充実化を推進

- ▶ オンライン決済システムの導入など、B2B2Cを意識したサイト制作

### レストア専門サイト『JMC BASE』のコンテンツ強化

- ▶ YouTubeチャンネル「JMC BASE」と連携し、ものづくりの過程も視聴者と共有



# Appendix



- [会社名] 株式会社JMC
- [設立] 1992年12月
- [資本金] 782,671千円
- [上場市場] 東京証券取引所マザーズ (5704)
- [従業員数] 140名
- [代表者] 代表取締役社長兼 CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

## ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

jmc-rp

[www.jmc-rp.co.jp](http://www.jmc-rp.co.jp)



## コンセプトセンター

長野県飯田市  
鑄造事業、CT 事業



## ミーリングセンター

静岡県浜松市浜北区  
鑄造事業



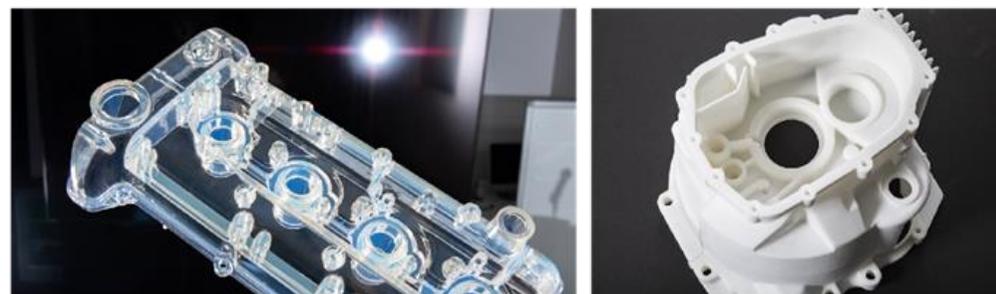
## 本社

神奈川県横浜市港北区  
3D プリンター出力事業  
CT 事業



## AMセンター

神奈川県横浜市港北区  
3D プリンター出力事業

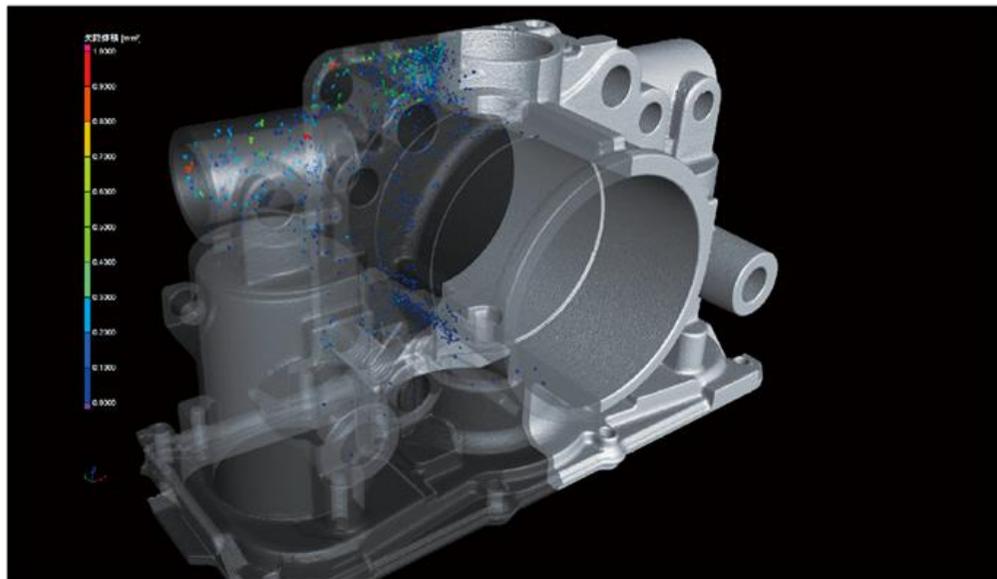


## 鑄造事業

精密砂型鑄造による試作、小ロット量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。

## 3Dプリンター出力事業

工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。



## CT事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。



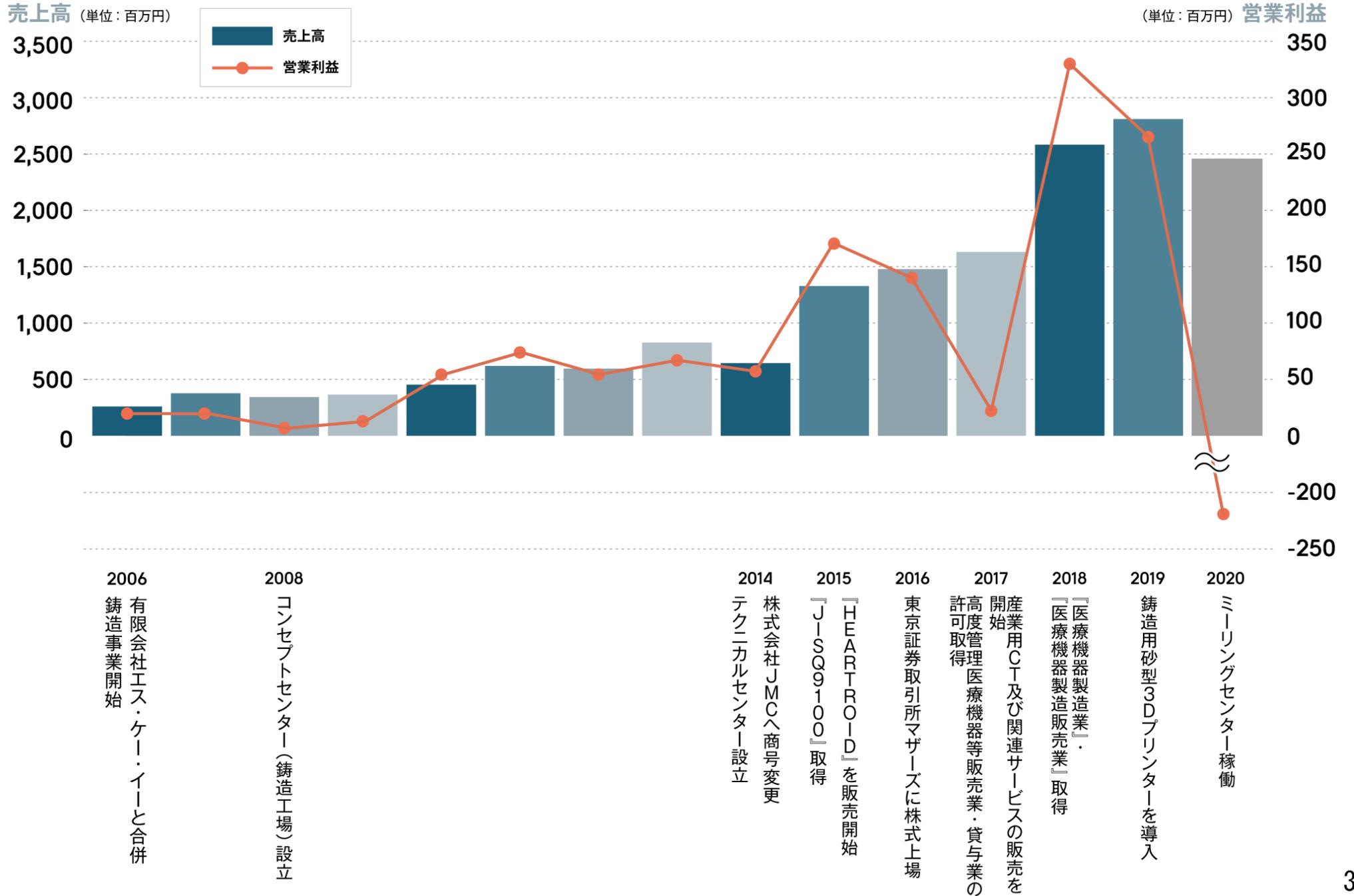
## メディカル

3Dプリンター技術を活用したオーダーメイド医療用模型の作製に加え、2018年より医療機器販売を開始し、次世代ギブス「OPENCAST」の販売を行っています。



## HEARTROID (ハートロイド)

大阪大学、フヨー株式会社と共同開発した心臓カテーテル治療のトレーニングシステムです。3Dプリンターで再現された透明な心臓と拍動ポンプを使うことで、実践的でハイレベルなシミュレーションが可能になります。



本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社（機関）名・製品名は、各社（機関）の登録商標または商標です。

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社 J M C 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 5 号

電話番号 : 045-477-5751 E-mail : [ir@jmc-rp.co.jp](mailto:ir@jmc-rp.co.jp)